

1 事業活動について

ホームヘルパーが利用者の居宅に於いて、その利用者の有する能力に応じ、可能な限り自立した生活を営む事が出来るように支援することを目的に、次のサービスを重点に行いました。

- (1) 利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供を行いました。
- (2) 具体的なサービスの内容を記載した、訪問介護・予防訪問介護・予防給付型の計画を作成し、日常生活を営むに必要な援助を行いました。
- (3) 利用者又はその家族に、訪問介護・予防訪問介護・予防給付型サービスの提供方法について理解出来るように説明しました。

2 活動実施について

・利用者数については入所、入院と変動があり長期の利用者の定着は難しい面もありますが、各居宅ケアマネージャーとの信頼関係も構築でき、新規利用者の契約もできていました。しかし昨年度より非常勤職員が1名減少。募集を行っても応募がなく、新に今年度末には非常勤職員の退職願いが2名ありました。それに伴いヘルパーステーションの存続を検討し、利用者の新規獲得を見合わせています。

(1) 利用者数 (予防訪問介護・給付型支援含む) (人)

| | 生活援助 身体介護 | 生活援助 (予防) | 身体介護 (予防) | 合計 |
|------------|--------------|--------------|--------------|-----|
| 28年度 合計 | 57 | 287 (187) | 124 (14) | 468 |
| 29年度 合計 | 53 | 201 (141) | 142 (50) | 396 |

(2) 利用者回数と時間 (延)

| 介護形態 | | 利用者数 (人) | 利用回数 (回) | 派遣時間 (時間) |
|--------------|--------|-------------|-------------|--------------|
| 生活援助 | 45分未満 | 44 | 446 | 334.6 |
| | 45分以上 | 16 | 171 | 171.0 |
| 身体介護 | 20分未満 | 3 | 7 | 2.2 |
| | 30分未満 | 37 | 702 | 343.0 |
| | 60分未満 | 52 | 253 | 253.0 |
| | 90分未満 | 0 | 0 | 0.0 |
| 身体介護 生活援助 | 50分未満 | 33 | 793 | 660.5 |
| | 75分未満 | 2 | 3 | 4.0 |
| | 105分未満 | 18 | 127 | 208.25 |
| 予防介護・給付型 | 60分未満 | 191 | 967 | 843.25 |
| 29年度合計 | | 396 | 3,469 | 2,819.8 |

3 訪問介護職員数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

| | | |
|-----------|-------------|--|
| 管 理 者 | 梨花の里施設長（兼務） | |
| サービス提供責任者 | 林 美 鈴 | |
| 常 勤 | 非 常 勤（登録） | |
| 1（人） | 4（人） | |

4 訪問介護員の会議開催状況

| 会 議 名 | 回 数 | 会 議 内 容 |
|---------|-----|---|
| 地域ケア会議 | 2 | 各事業からの連絡報告・介護予防・日常生活総合事業について説明・みんなでふせごう高齢者虐待 |
| 在宅施設内研修 | 12 | 守秘義務・介護保険法令・接遇・感染症対策・高齢者虐待・認知症について・事業計画の周知・体調管理 |
| ヘルパー会議 | 12 | ケース検討・サービスの調整・勤務体制の確認 チームケア・連携・連絡方法について |
| 施設内会議 | 6 | 研修・介護力向上スキル・グループ検討・虐待防止 感染症対策・看取り介護 |

5 訪問介護員の研修参加（施設内含む）

| 日 時 | 研 修 名 |
|------------|----------------------------|
| H29年 4月 5日 | 食中毒予防・蔓延防止研修 |
| H29年 6月 9日 | 腰痛研修 |
| H29年 6月26日 | 介護保険事業者集団指導 |
| H29年 8月 9日 | 身体拘束防止・廃止研修 |
| H29年10月18日 | 認知症研修・認知症の方とのコミュニケーションについて |
| H29年12月20日 | リスクマネジメント |
| H30年 2月21日 | 看取り研修（浄土寺住職） |
| H30年 3月16日 | 高齢者虐待防止 |
| H30年 3月20日 | 介護保険事業者集団指導 |